

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-538329(P2004-538329A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2003-520291(P2003-520291)

【国際特許分類】

A 01 N	47/34	(2006.01)
A 01 N	33/22	(2006.01)
A 01 N	37/32	(2006.01)
A 01 N	41/10	(2006.01)
A 01 N	43/40	(2006.01)
A 01 N	43/653	(2006.01)
A 01 N	43/66	(2006.01)
A 01 N	43/70	(2006.01)
A 01 N	43/80	(2006.01)
A 01 N	43/90	(2006.01)
A 01 N	47/24	(2006.01)
A 01 N	47/30	(2006.01)
A 01 N	47/36	(2006.01)
A 01 N	43/824	(2006.01)

【F I】

A 01 N	47/34	E
A 01 N	33/22	1 0 1
A 01 N	37/32	1 0 1
A 01 N	41/10	A
A 01 N	43/40	1 0 1 D
A 01 N	43/40	1 0 1 E
A 01 N	43/653	A
A 01 N	43/653	Q
A 01 N	43/66	
A 01 N	43/70	
A 01 N	43/80	1 0 1
A 01 N	43/90	1 0 5
A 01 N	43/90	1 0 6
A 01 N	47/24	B
A 01 N	47/30	B
A 01 N	47/36	1 0 1 E
A 01 N	43/82	1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

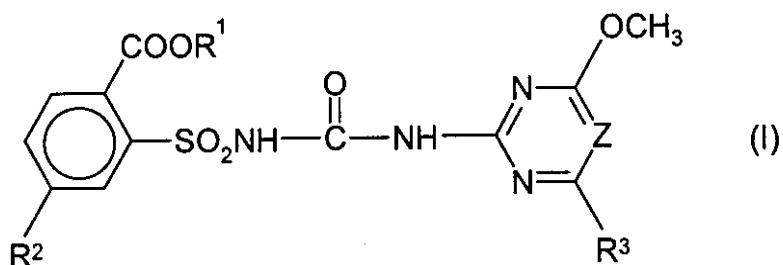
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効量の成分 (A) および (B) を含有する除草剤組合せであって、ここで、(A) は、式 (I)

【化 1】



[式中、

R¹は、(C₁ - C₈) - アルキル、(C₃ - C₄) - アルケニル、(C₃ - C₄) - アルキニルまたは、ハロゲンおよび / または(C₁ - C₂) - アルコキシから成る群より選択される基によりモノ - ~ テトラ置換された(C₁ - C₄) - アルキルであり、

R²は I または C₂H₅NHSO₂CH₃であり、

R³はメチルまたはメトキシであり、そして、

ZはNまたはCHである];

の化合物およびその塩の群から選択される 1 種またはそれ以上の除草剤を表し、

そして

(B) は、単子葉および / または双子葉の有害植物に対し、いくつかの単子葉植物の農作物において選択的に作用する、下記の化合物群：

- (B 1) フルカルバゾン、
- (B 2) B A Y M K H 6 5 6 1 (プロカルバゾン)、
- (B 3) フロラスマム、
- (B 4) ハロスルフロン、
- (B 5) トリトルフロン、
- (B 6) ピコリナフェン、
- (B 7) シニドン - エチル、
- (B 8) メソトリオン、
- (B 9) メトラスマム、
- (B 10) クロピラリド、
- (B 11) フルフェンアセト、
- (B 12) フルメタスマム、
- (B 13) フルポキサム、
- (B 14) プロスルフォカルブ、
- (B 15) フルルタモン、
- (B 16) アクロニフェン、
- (B 17) ヘキサジノン、
- (B 18) アスマム、
- (B 19) ジウロン、
- (B 20) アメトリン、
- (B 21) イソキサフルトル、
- (B 22) アミカルバゾン、および
- (B 23) トリフロキシスルフロン、

から選択される 1 種またはそれ以上の除草剤を表すが、ただしここで、(A) R¹ = (C₁ - C₈) - アルキル、(C₃ - C₄) - アルケニル、(C₃ - C₄) - アルキニル、またはハロゲンおよび (C₁ - C₂) - アルコキシから成る群より選択される基によりモノ - ~ テトラ置換された(C₁ - C₄) - アルキルであり、R² = C₂H₅NHSO₂CH₃であり、R³は

メトキシであり、そしてZはCHである式(I)の化合物およびその塩から成る群より選択される1種またはそれ以上の除草剤と、(B)メトスラム(B9)、フルポキサム(B13)、プロスルフォカルブ(B14)およびフルルタモン(B15)の化合物群から選択される1種またはそれ以上の除草剤とを含有する除草剤組合せは除く。

【請求項2】

成分(A)として、メソスルフロン-メチル、メソスルフロン-メチルナトリウム、イオジノスルフロン-メチルおよびイオジノスルフロン-メチルナトリウムから成る群より選択される1種またはそれ以上の化合物を含有する、請求項1に記載の除草剤組合せ。

【請求項3】

異なる型の農薬的に活性な化合物、農作物保護において慣習の補助製剤および添加剤から成る群より選択される、1種またはそれ以上の更なる成分を追加的に含有する、請求項1または2に記載の除草剤組合せ。

【請求項4】

追加的に、1種またはそれ以上の薬害軽減剤を含有する請求項1～3のいずれかに記載の除草剤組合せ。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかで定義される除草剤組合せを、植物、植物の部分、植物の種子、または植物が成長する区域に施すことを含む、有害植物を防除する方法。

【請求項6】

作物において、有害植物を選択的に防除するための、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

単子葉植物の作物において、有害植物を防除するための、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

作物が遺伝的に改変されているか、または変異/選抜により得られた作物である、請求項6または7に記載の方法。

【請求項9】

有害植物を防除するための、請求項1～4のいずれかで定義される除草剤組合せの使用。